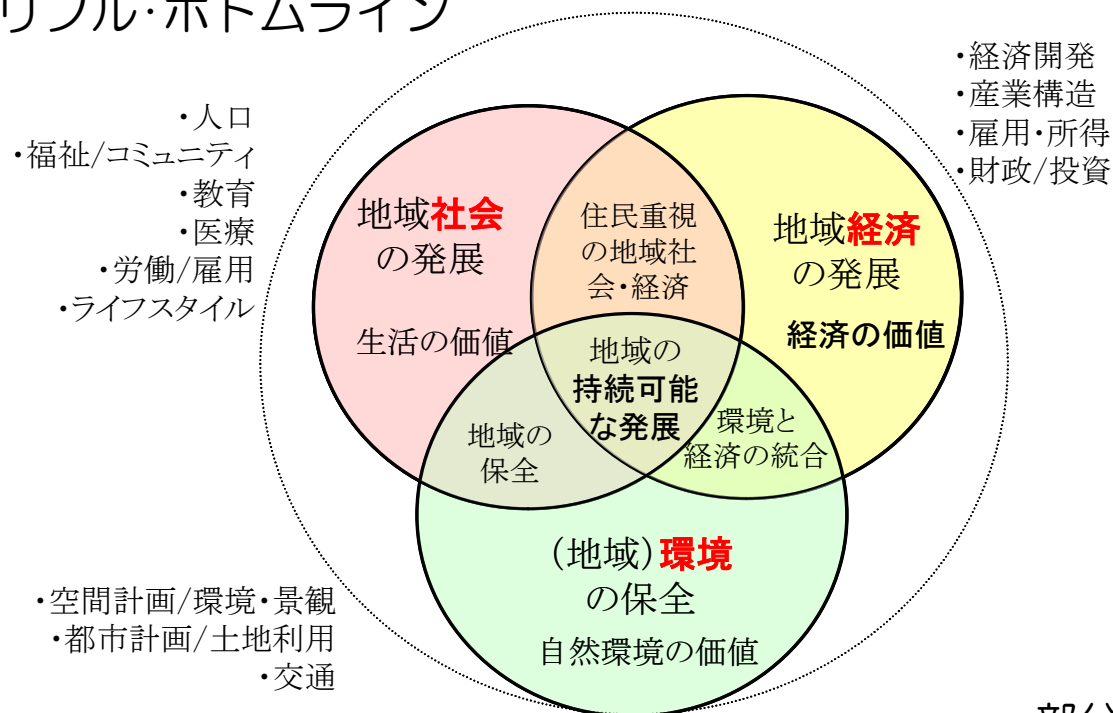
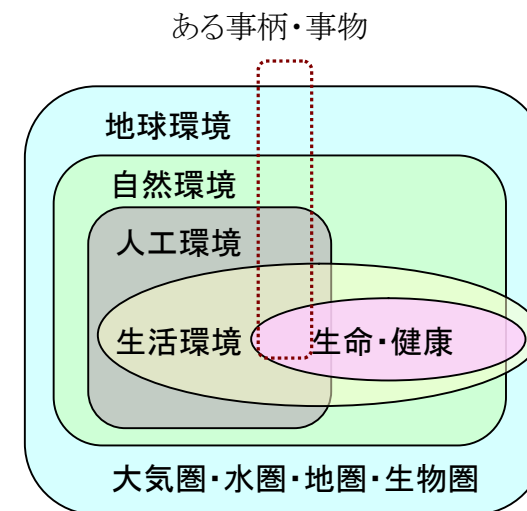


# 基本目標を考えるためのベース参考資料

## 環境と経済・社会のバランス トリプル・ボトムライン

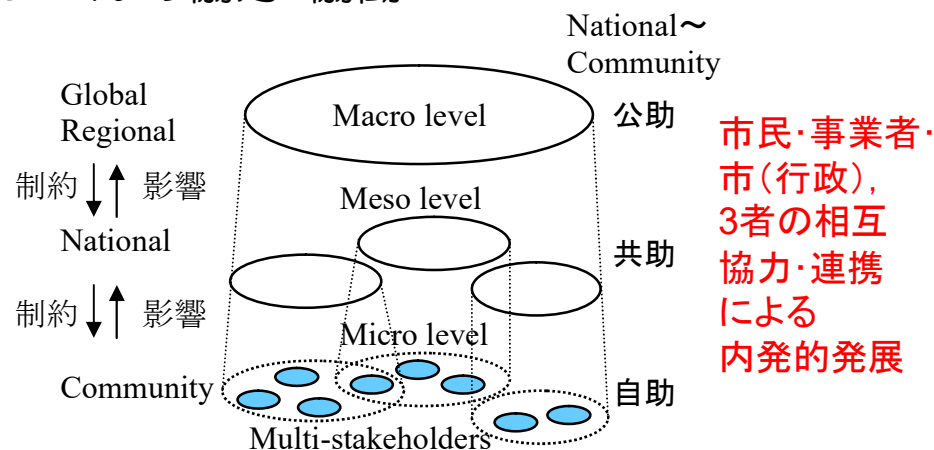


## 各種環境の関係



地球はエネルギーに関して開放系だが、物質に関しては閉鎖系。化学物質も循環する。

## 各レベルの協力・協働



部分(短期)最適ではなく  
全体(長期)最適かをチェック

		他者・他社・他地域	
		Lose	Win
自分・自社・地元	Win	Win/Lose	<u>Win/Win</u> or <u>No Deal</u>
	Lose	Lose/Lose 共倒れ	Lose/Win

# 内発的発展の視座

内発的発展の初出（開発経済論，リンクする5つのポイント（キーワードのみ））

- (1) 基本的ニーズの充足 Need-oriented,
- (2) 内発的 Endogenous,
- (3) 自立的, 自力更生的 Self-reliant,
- (4) エコロジー的に健全であること Ecologically sound,
- (5) 経済社会構造の変化を踏まえる Based on structural transformations.

Nerfin, M. ed. (1975/77) *Another Development: Approaches and strategies*. Dag Hammarskjold Foundation, p.10, 265p.

内発的発展の定義例（地域経済学）

(1) 地域発展の目標

**環境・生態系の保全**および**社会の維持可能な発展**を政策の枠組みとしつつ、**人権の擁護**、**人間の発達**、**生活の質の向上**を図る総合的な地域発展を目標とする。

（環境保全の枠の中で開発を考え、アメニティ、福祉、文化、地元住民の人権の確立を求める総合目的を持つこと。）

(2) 地域発展の方法・手段

**地域にある資源**、技術、産業、人材、文化、ネットワークなどの**ハードとソフトの資源**を活用し、  
地域経済振興においては、複合経済と多種の職業構成を重視し、域内産業連関を拡充する発展方式をとる。

地域経済は閉鎖体系ではないため、「地域主義」に閉じこもるのではなく、  
経済力の集中・集積する**都市との連携**、その活用を図り、また、必要な規制と誘導を行う。

**国家の支援措置**については、**地域の自律的意志**により活用を図る。

（地元の技術・産業・文化を土台に、地域内の市場を主な対象として、地域住民が学習・計画・経営すること。

だが、地域主義ではない。大都市圏、政府との関連を無視して地域が自立できるものではない。

産業開発を特定業種に限定せず、複雑な産業分野にわたるようにして、付加価値があらゆる段階で地元に着するよう地域産業連関をはかること。）

(3) 地域発展の主体 **自前の発展努力**

**地域の自律的な意志**に基づく政策形成を行う。

**住民参加**、**分権と住民自治**の徹底による地方自治の確立を重視する。同時に、**地域の実態**に合った事業実施主体の形成を図る。

（住民参加の制度をつくり、自治体が住民の意志を体して、その計画にのるよう資本や土地利用を規制しうる自治権を持つこと。）

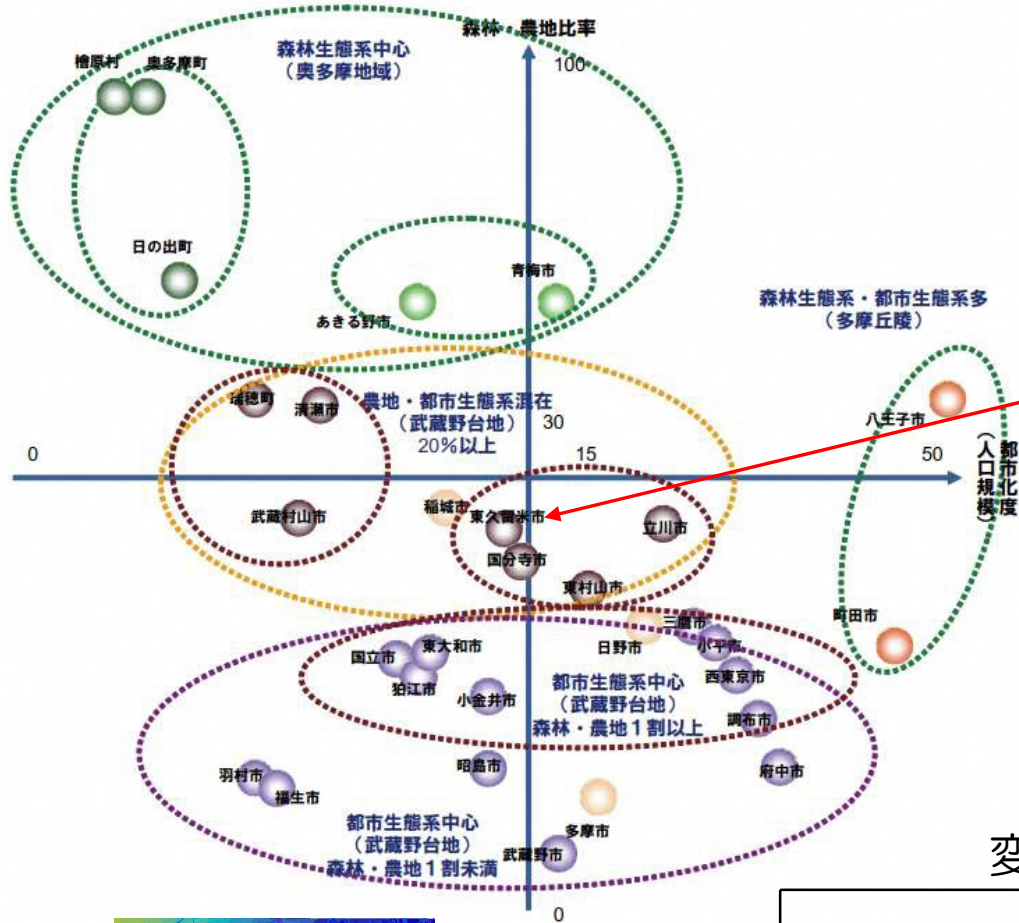
\* **地域**とは、「土と水に基づいて定住者が生活を営む場所」(鶴見・川田1989:53)

保母武彦(1996)『内発的発展論と日本の農山村』(岩波書店), 3, 271. 保母武彦(2013)『日本の農山村をどう再生するか』(岩波書店), 317-322, 333.

( )内は、宮本憲一(1989/2007)『環境経済学』(岩波書店), 296-303, 379.

# 地域としての東久留米はどのようなフィジカル・ベースなのか？

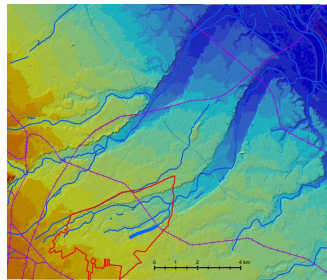
自然規模×人口規模による多摩類型図→東久留米市は農地・都市生態系混在型  
 = 地域資源としての「農」×6次～10次産業化になじむ都市型



大分類 (主な地形)	(小分類)	該当市町村	基本条件 (目安)
森林生態系中心 (奥多摩地域)	森林中心型	日の出町、奥多摩町、檜原村	森林率 50%以上 人口 3万人未満
	森林小都市型	あきる野市、青梅市	森林・農地率 50%以上 人口 3万人以上
森林生態系都市生態系多 (多摩丘陵)	丘陵都市型	稲城市	森林率 10%以上 人口 30万人未満
	森林大都市型	八王子市、町田市	森林率 10%以上 人口 30万人以上
農地・都市生態系混在 (武蔵野台地)	田園都市型	瑞穂町、清瀬市、武蔵村山市	農地率 20%以上 人口 10万人未満
	住農混在型	東久留米市、国分寺市、東村山市、立川市	農地率 20%以上 人口 10万人以上
都市生態系中心 (武蔵野台地)	住農混在小都市型	国立市、東大和市、狛江市、小金井市	農地率 10%以上 人口 10万人未満
	住農混在大都市型	三鷹市、小平市、西東京市、調布市、府中市、日野市	農地率 10%以上 人口 10万人以上
	低密都市型	羽村市、福生市、昭島市	森林・農地率 10%未満 人口 10万人未満
	都市密集型	武蔵野市、多摩市	森林・農地率 10%未満 人口 10万人以上
島しょ生態系中心	伊豆諸島生態系	大島町、新島村、神津島村、三宅村、八丈町、利島村、御蔵島村、青ヶ島村	人口 0.1 万人未満
	小笠原諸島生態系	小笠原村	—

出典: (財)東京市町村自治調査会(2011/3)  
 『市町村の生物多様性地域戦略策定に向けた提言』  
 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

## 変化に富む東久留米の地形



5~6万年前に、古多摩川が流れていた谷の跡の中に3つの河川

	崖(比高差)	湧水	河川	湿地	林地のタイプ
(関東)山地・(多摩)丘陵					
(武蔵野)台地	東久留米	東久留米	東久留米		平地林 縁崖林, 水源の森
(関東)平野・低地					

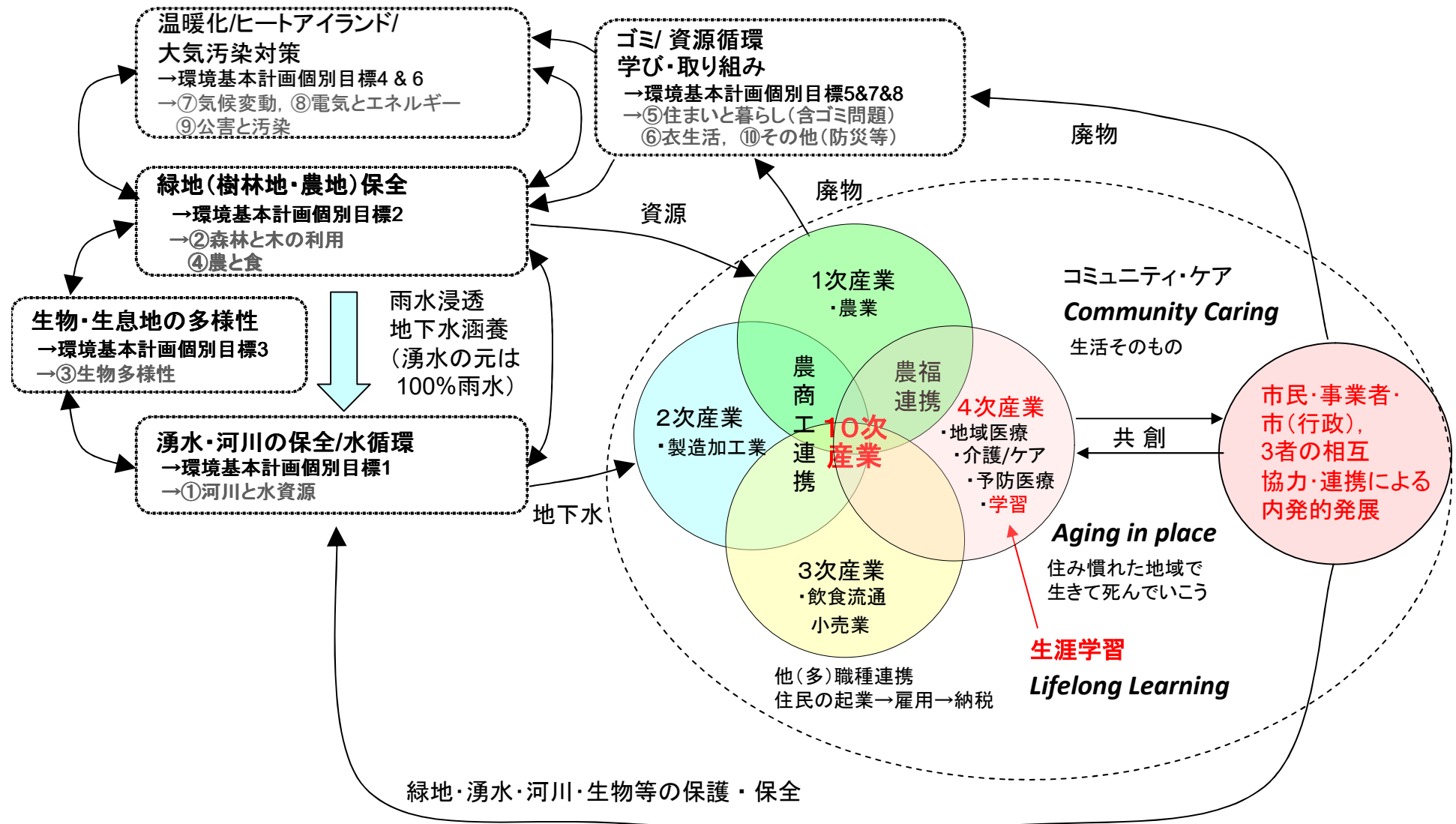
# 10次産業化(農商工連携+農福連携+地域医療・ケア+生涯学習)・共創と自然環境の保全

東久留米市環境基本計画(第2次)

東久留米市長期総合計画基本構想(第5次策定中)

「水と緑, 地球環境にやさしい暮らしをみんなで育むまち“東久留米”」

ex. 人と自然に寄り添い 共に創る 活力あるまち” 東久留米



「10次産業」「aging in place」(デンマーク, オランダで使われる)等の言葉の出典: 村上智彦(2017)『最強の地域医療』(KKベストセラーズ)

(参考)第7回審議会資料1へのシフト

住みやすさを感じるまち

- ① 生活の安全・安心の向上
- ② 生活の快適性を支えるまちづくり



安心して快適にすごせるまち

- ① 安全・安心な地域づくり
- ② 都市基盤整備の推進

健康で幸せにすごせるまち

- ① 高齢者福祉の推進
- ② 障害者福祉の推進
- ③ 健やかな生活を支える  
保健医療の推進



自分らしい暮らしができるまち

自分らしく暮らしてつづけられるまち

誰もが健康に暮らせるまち

- ① 高齢者が安心して暮らせる地域づくり
- ② 障害者がいきいきと暮らせる地域づくり
- ③ 健康を支える保健医療の充実, 健康づくりの推進  
健やかな生活を支える保健医療の推進

子どもの未来と文化をはぐくむまち

- ① 子どもが健やかに生まれ育つことへの支援
- ② 活力ある学校づくり
- ③ 生涯学習の推進



子どもの生きる力をはぐくむまち

- ① 子どもを安心して産み育てられる環境づくり
- ② 子どもの未来を育む学校づくり

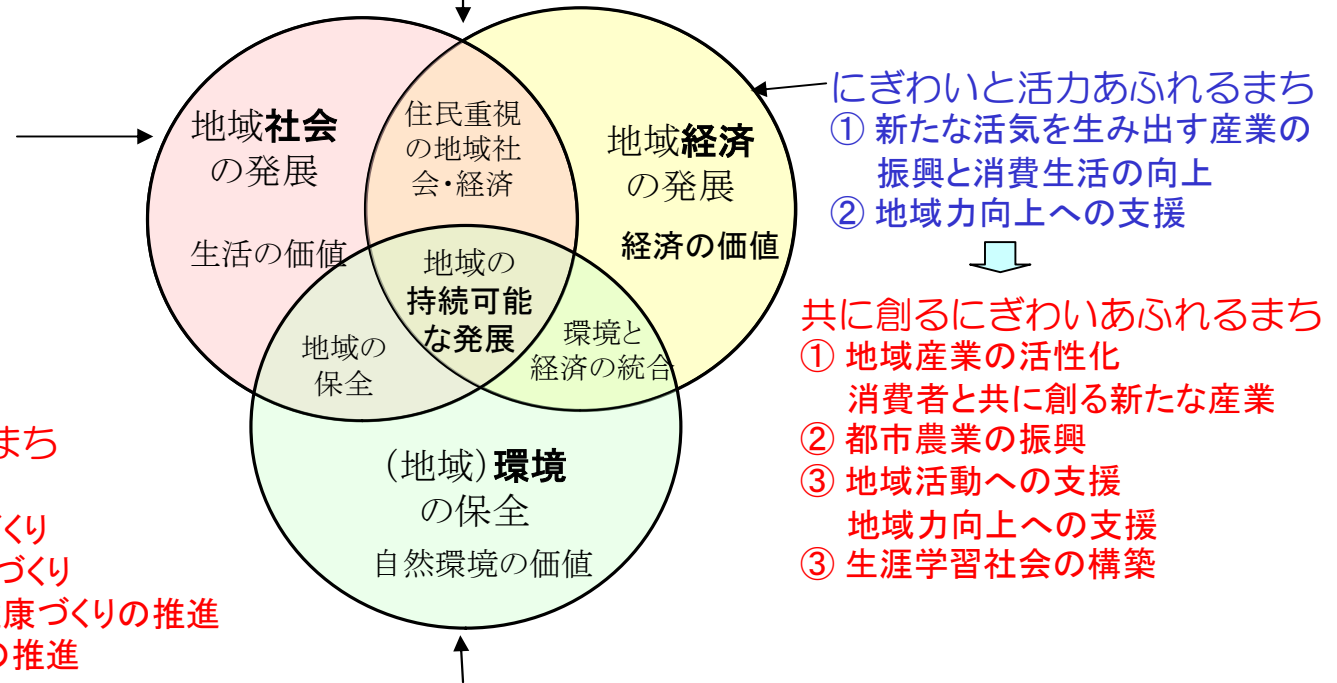
第4次長期総合計画後期基本計画

“自然 つながり 活力あるまち” 東久留米



第5次長期総合計画後期基本計画 (策定中)

ex. “人と自然に寄り添い 共に創る 活力あるまち” 東久留米



にぎわいと活力あふれるまち

- ① 新たな活力を生み出す産業の振興と消費生活の向上
- ② 地域力向上への支援



共に創るにぎわいあふれるまち

- ① 地域産業の活性化  
消費者と共に創る新たな産業
- ② 都市農業の振興
- ③ 地域活動への支援  
地域力向上への支援
- ③ 生涯学習社会の構築

地球環境にやさしいまち

- ① 水と緑にふれあうまちづくり
- ② 環境負荷低減の推進



自然と共生する環境にやさしいまち

- ① 水と緑と生きものを守り育てる環境づくり
- ② 地球環境にやさしい社会の実現  
地球環境に負荷を与えない社会の実現